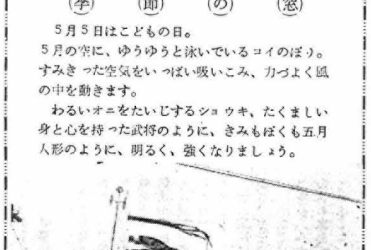
（昭和37年12月5日 第3種郵便物認可）　（発行日　毎月1日）　昭和40年5月1日

広報五城目

発行所　秋田県五城目町役場　編集　総務課
印刷所　五城目印刷所（電話　五城目　501番～505番）　電話571番　（一部五円）

季節の窓

5月5日はこどもの日。
5月の空に、ゆうゆうと泳いでいるコイのぼり。
すみきった空気をいっぱい吸いこみ、力づよく風の中を動きます。
わるいオニをたいじするショウキ、たくましい身と心を持った武将のように、きみもぼくも五月人形のように、明るく、強くなりましょう。

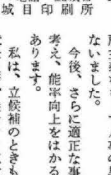


町の要覧

人口	20,531
	男 10,062　女 10,469
世帯数	3,818
総面積	214,41平方キロメートル
田	1,743ヘクタール　畑 289ヘクタール
山林	16,588ヘクタール

小林町長、全職員に 年度始めの訓辞

四月十七日午前九時から、役場第一会議室で、全職員に対し新年度開始に当っての心構えなど、小林町長から次のような訓辞がありました。



不断の研修を望む

年度初めに当り、ご挨拶を申し上げます。年間をまかなう予算も去る三月二十七日に可決され、いよいよ新年度の事業が開始されるわけでありますが、最大の効果をあげるために道材道所主義をもって人事の異動を行ないました。

今後、さらに適正な事務量を考え、能率向上をはかる所存であります。

私は、立候補のときも、また就任挨拶、議会での施政説明で二万一千町民に公約したことはまず一派閥の解消一であります。

申しあげるまでもなく、私ども家庭においても、また、役場においても常に心がけ、そして実行しなければならないことは、々清深で、明朗で、公平々でなければなりません。これが身につきますと、自ら派閥解消ともつながり、明るい町になると確信します。

今年度のおもな事業は、五小馬川小の統合小学校建設、湖東病院の拡充、観光開発、五城目八郎潟線の直線化、昨年の土木農業災害復旧などであります。これらの事業については、議会でも申しあげてありますが、就任早々これと取っ組み、県や国及び関係方面へ強力に呼びかけできるだけ早期に実現するよう努力しております。

平ノ下の火災

四月七日馬場目平ノ下に、また四月十四日に大川本村に火災が発生し、次の方々が類焼しました。たいへんお気の毒に存じます。

▼平ノ下部落
◎全焼　西井俊三　西井氷吉　今野鉄太郎　小玉清吉　西井憲蔵
▼大川村本村
◎全焼　青山福治　淡野久雄　八柳伝四郎　北島兼太郎　八柳光雄　北島健蔵　伊藤与助　浦田重雄
◎部分焼　北島晋一郎　伊藤六之助　淡野三郎

火の元には十分注意を

五月は火災の最も発生し易い気象状態のうえ、農繁期などのために留守がちとなり、火災が発生すると大火になるおそれがあります。

特に、こどもの火遊び、取り扱いの不始末、ぬか火の取り扱いたばこの不始末など出火の原因が非常に多いので、この際火の元には十分ご注意ください。

一方、町歳入の大半を占めている「納税」は、過年度を含め全県最下位にあり、これが、あらゆる面に影響していることは残念であります。今年は是非全県の中位までのしあがる決意を固め、信用回復のために総力をあげる所存でありますので、係員の努力はもちろん、全町民のご協力を切望いたします。

私、就任して二か月たらずですが、火災発生件数が六件で、特に平ノ下、大川本村の火災は大きく、罹災した方々に対しては気の毒にたえません。火災一掃については全町民をあげてご協力くださるよう要望いたします。

今後、四年間皆さんとともに清深な、そして明るい気分で町政を執行いたしますから、事務の研修には十二分に努力され、協力くださるようお願いいたします。

馬場目平ノ下と大川本村の火災で罹災者の方々に対し、各方面から温かい救いの手が差しのべられていますが、四月二十五日現在役場及び善意銀行をとおして差しあげた金品は次のとおりです。

▼馬場目地区民生委員は地区内に救援米を呼びかけたところ四百四斗四升に達し、人員割で平ノ下部落の罹災者に配分しました。このほか金銭が二千六百円あります。

▼善意銀行五城目支店から毛布を平ノ下へ三枚、大川へ四枚。
▼五城目連合婦人会（会長小玉ハルエさん）から現金六千五百円。
▼北島礼三郎さん、衣料四十点。▼高原金物店、バケツ十点。
▼五城目婦人会（会長佐藤真さん）衣料その他三十三点▼笹川善吉さん、衣料十二点▼大川婦人会（会長北島実子さん）バケツその他四点▼大川若妻会（会長小飛ミヨさん）茶わん三点（以上善意銀行取り扱い分）▼役場職員、平ノ下へ三千百円、大川へ千円。

なお、平ノ下部落では婦人会の協力で、一反歩一升以上の救援米を呼びかけたところ約四石に達し、世帯割と人員割で配分し感謝されています。

春うららかつい先日まで冷たい北風が走り抜けていた川辺も、一日ごとに春のにおいで新たな装いをこらしています。うららかな春の陽を浴び、豆画家たちは川べりに陣とって、好きな画材をみつけ、せっせとえ筆を走らせている目は真剣そのもの。

写真　写生する豆画家たち

国保税率を引き上げ 保険給付額が急増

時会議臨町

四月十七日町議会臨時会を開き次の議案を審議、原案どおり可決いたしました。

▼五城目町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定

今回所得税法、法人税法及び地方税法の改正にともない、町条例の改正も必要となったので、あらましは次のとおりです

※障害者などの非課税の範囲を年所得の現行二十万円を二十二万円に引き上げる。

※町税法人税率は現行百分の九・七を百分の一〇・一に引上げ

※軽自動車の四輪以上の乗用車税率を現行三千円から四千五百円に引き上げる。

☆国保税は、医療費の高騰などで保険給付額が増加するため、税率を引き上げ昨年より一六・七％の増収を見込む。従って、昨年より一世帯当り三千五百八十一円、被保険者一人当り七百三十三円の増税となります。

町職員の人事異動

【四月十一日付】カッコ内旧

▽総務課長　兼務　助役小林覚
▽養老院副院長（総務課長）秀
▽登記係（文書）佐々木雄一
▽庶務係（教委）館岡克巳
▽財政係（税務）館岡武雄
▽水道課長兼務土木課長石井伝治
▽経済課長（議会事務局長）加藤勝太郎
▽選挙管理委員会出向（経済課長）佐々木市太郎
▽農業委員会出向（水道課長）牧口武彦
▽国保税係長（水道課長補佐）小林米蔵
▽土木係長（土木課長補佐）佐藤重治
▽税務係長（経済課長補佐）北嶋倉治
▽林務係長（経済課長補佐）鬼玉茂
▽農政係長（税務課長補佐）石井保一
▽議会事務局出向（住民課長補佐）北嶋礼三郎
▽税務賦課係長（副収入役）石川富司
▽水道業務係長（水道庶務係）千田金之助
▽秘書（文書係）工藤雷勝
▽総務登記係長（土木技術係長）石井全司
▽土木庶務係長（人事係）一関勝巳
▽住民課長兼住民係長（選管）石井浩三
▽同保健衛生係長（民生係長）伊藤良悦
▽国民年金係（国民年金係）金野養蔵
▽収入役室出納係長（出納係）工藤忠陸
▽大川出張所長（戸籍係）広瀬一美
▽住民課民生係（土木庶務係）石川久美子
▽同（新採用）石川久美子
▽同（国保税）千田光夫
▽同（税務、評価）川上哲也
▽賦課係（伊藤勝子）
▽同（税務）佐藤林
▽同（総務課）一関敬弘
▽同（税務、評価）伊藤昭子
▽住民課（税務課）千葉六郎
▽同（税務）小玉テツ
▽自動車運転手（土木課）京野孝之助
▽衛生係（民生係）千葉哲郎
▽国保係（議会事務局）大石政子
▽自動車運転助手（教委）嶋崎吉之助
▽収入役室
▽審査係　兼務　出納係長工藤忠陸
▽出納係（教委）高沢キヤ
▽同（同）加藤一子
▽同（税務課）佐藤延美
▽教育委員会（出向）
▽学校教育係（総務課）館岡国雄
▽総務係（収入役室）渡辺昭子
▽馬川小務員（経済課）猿田源蔵
▽大川小同（大川出張所）小熊信夫
▽中公社会教育（経済課）佐々木喜代治
▽同（住民課）佐々木喜代治
▽同（総務係）松橋美樹子
▽大川小・中給食事務係（水道係）渡辺由紀子
▽杉沢小養護婦兼給食事務係（新採用）石川久美子
▽中公より馬川小養護婦兼給食事務係（大川ミヨ）
▽五小より五一中へ用務員栗山ミサ
▽五一中より用務員吉見スギエ
▽大川小張所へ（税務課）原田甚一郎
▽消防署へ（税務課）佐藤誠
▽議会事務局へ（住民課）伊藤勝子
▽農業委員会へ（収入役室）一関昭子

児童福祉週間

五月三日から十一日までの一週間にわたって「児童福祉週間」が実施されることになりました。

最後二十年、目ざましい経済の成長による社会の変動から、児童の健全育成にいろいろな障害をおよぼしている現状から、本年は特に児童憲章利益言葉や児童憲章で定められた約束事を育成しているか深く反省し、家庭や学校、地域社会機関団体などがそれぞれの責任を再確認し、みんなでこどもがしあわせに育つよう努力いたしましょう。

また、こどもについてこまった問題がありましたら、児童相談所、福祉事務所の家庭児童相談室、町の民生児童委員、教育相談所町の心配ごと相談所、家庭裁判所、少年鑑別所、少年補導センター（ご相談ください。

明るい家庭は こどものしあわせから

○五月の「家庭の日」は十六日（第三日曜）ですから、これを実践してこどものしあわせをねがい明るい家庭づくりに努力いたしましょう。

○　○

学習課題は生活の中から

—全町社会教育大会終わる—

去る四月二十四日、二十五日役場会議室において教育委員会主催のもとに各学級生、青年、婦人若妻会員（延べ四百人参加）を対象に「社会教育大会」を開催しました。

第一日目は県社会教育課長石川勾三氏の「町づくりに果す社会教育の役割」と題する講演で始まり、午後全体討議を通しての「社会教育における学習とは、生活の中から課題をみつけ、その課題を解決しようとする行為と意欲」である事を確認して二日間にわたる大会の一切を終わりました。

各学級の開講式

中央公民館では去る二十五日社会教育大会の際、各学級の開講式を同時に行ないました。今年度の特徴は全地区に家庭教育学級を設け家庭における人間関係をさらに向上させることを目的に強くおしすすめることになりました。

第二日目は分科会を引き続きおこない、午前十一時から「現代における生活指導」と題して秋田大学学芸学部教授柳田良十郎氏が生活の中にひそむいろいろな問題点の例をあげてこれが解明のための感銘深い講演がありました。

展示室にはおもに若妻会員による、生花や肥料袋を利用したバックなど、さん新なデザインの作品が八十余点が紹介され、会員の意欲が見事な結晶になっていました。

全体討議を通しての結論は、「社会教育における学習とは、生活の中から課題をみつけ、その課題を解決しようとする行為と意欲」である事を確認して二日間にわたる大会の一切を終わりました。

参加者の討議は、第一分科会が「学級関係」（司会者佐藤真氏）第二分科会「青年会関係」（司会者館岡隆一氏）第三分科会「婦人団体運営関係」（司会者大石ワサ氏）に分れ、約二時間にわたっておこなわれ盛んな意見の交換がみられました。伊藤きく先生の指導による「健康の歌」をみんなで合唱し楽しい五日役場会議室において教育委員会主催のもとに各学級生、青年、婦人若妻会員（延べ四百人参加）を対象に「社会教育大会」を開催しました。

第一日目は県社会教育課長石川勾三氏の「町づくりに果す社会教育の役割」と題する講演で始まり、午後全体討議を通しての結論は、「社会教育における学習とは、生活の中から課題をみつけ、その課題を解決しようとする行為と意欲」である事を確認して二日間にわたる大会の一切を終わりました。

展示室にはおもに若妻会員による、生花や肥料袋を利用したバックなど、さん新なデザインの作品が八十余点が紹介され、会員の意欲が見事な結晶になっていました。

全体討議を通しての結論は、「社会教育における学習とは、生活の中から課題をみつけ、その課題を解決しようとする行為と意欲」である事を確認して二日間にわたる大会の一切を終わりました。

学級生を代表して内川地区の工藤さわさんが学級生としての心の誓いを述べて式を閉じました。

大口のごみ処理を受付

町清掃条例の一部を改正し、大口のごみ処理手数料を次のとおり定めましたから、ご利用ください。

▼ごみ焼却場へ直接搬入したもので

大型自動車一台　百五十円
中型　〃　百円
小型　〃　七十円
馬車　〃　五十円

▼基本選挙人名簿に登録がもれている方。

▼引き続き町民となって三か月以上になる方。

▼満二十歳に達した方。

補充選挙人名簿は申し出で登録

これまでの補充選挙人名簿は選挙のあるたび毎に調製しておりましたが、選挙法の改正により本人の申し出によって登録することになりました。

従って、いままでのように調整期日にこだわることなく、いつでも取扱っておりますので次のような方々は町選挙管理委員会に申し出してください。

工事中森山登山は危険

森山第二高地に建設する無線中継所の工事がはじまりました。いま、道路新設にかかっておりますが、ハッパによる作業も多くあります。従って、登山も危険となりますから当分の間、現場付近に行かないように。

県の植樹祭

小嵐山にスギ七百本植える

緑の週間を記念する県の植樹祭は、十九日午前十一時から富津内小嵐山で行なわれました。

この日、朝からよい天気に恵まれ、作業衣姿の小畑知事をはじめ、立石秋田営林局長、小林町長ら関係者約三百人が出席スギの苗木七百本を記念植樹したあと、富津内東小で学校植林コンクール環境緑化コンクールの入賞校と学校植林優秀校を表彰しました。

なお、この行事は本町が林業構造改善地区に指定され、今年度から事業を開始する記念でもあります。　写真　植樹風景

史跡めぐり

森山（その五）

今まで四回にわたって森山がわが町の発祥の地であり、また信仰の中心であったことをのべて来たが、なかでも忘れられないことは、徳川時代の中頃にこの森山の麓から永和五年の古碑が発見されたことである。正面に三個の梵字と永和五年七月二十日右為妙法尼……の刻字がある。菅江真澄の道覧記に、その古碑のスケッチがのっている。永和五年と言えば、仁明天皇の御代で、今を去る千百三十年も前のことである。とすれば、すでにその時代から森山には仏教がはいっていたことになる。ある学者はそれを疑って、古碑はその時代のものでなく、後世の供養塔ではないかと言っているが、それは森山を知らないもののあて推量で何んの根拠もない。むろスケッチの文字の配列等からみれば、永和五年建立とみる方が自然である。この碑の霊鳥記については新町の地蔵尊の縁の時にのべたい。

話しはかわるが、当町高性寺の元禄十五年の古記録によると「当時根本ハ坊ケ沢ニ寺アリ、コレニ依テ古来ヨリ坊ケ沢ト中ハ寺ノ辺ヘ寺引テ以後元禄十年迄二百六年ニ成ル、雲間寺ヨリ是ヘ寺引テ元禄十年迄八十三年ナリ、元禄十五年六月八日沙門ゆう儀改之」とある。また別紙には「雲間寺ハ高性寺ノ旧名ナリ今ハ字トナリ」とある。これによって高性寺の移転を逆算していくと、元和六年（今から約三百四十五年）までは雲間寺に寺があり、また明応五年（今から約五百年）までは、坊ケ沢に寺があったことになる。その当時は寺は天台宗であったというその天台の寺がいつ頃はじまったかというと、天養元年（寺伝）というから、今からざっと八百二十年前である。従って永和五年の古碑はさておいても、森山の開山の歴史はまに古いといえる。

しかもこの坊ケ沢は前にものべたように森山の東の登り口になっている。また坊ケ沢の上の長根は昔から蛍ヶ長根と呼ばれている。永和の古碑もこのあたりから発掘されたものであろう。

ところがこの長い歴史を持つ霊山森山も、時代の流れには抗しがたく、いよいよマイクロウエーブの工事がはじまることになり、今年の八月までに道路がつくられ、来年六月までに中継塔が建設される。そのため二高地の頂上が約七米もけずりとられることになる。すでにそのためのサク岩機も頂上にあげられたという。森山信仰のあかった昔なら、霊山の頂をけずりとるとはなにごとかと、たいへんなさわぎになったかも知れない。しかしながら、そうしたことに危ぐをいだく人がいないでもない。勿論町としてもそれに対して何らかのつぐない方を考えているにちがいない。前町長の北島氏は議会や仏教会とタイアップして、森山に平和観音像をつくって、郷土の平和を祈念するという構想を持っていたようだが、いずれそうした宗教行事は何らかの形で行われるべきだと思う。近くには千吉のすみ家を目町民もここで一肌ぬぐべきところと思うが……ただ山を けずりばなしてはいけないと思う。

（分銅宗静）

跡

あの子もこの子も社会の宝 明るく正しく育てましょう

地区少年保護育成運営委員会発足

少年の福祉の向上と健全育成あるいは非行防止をはかることを、その目的としている本年度五城目地区少年委員会は、四月一日付で秋田県警察本部長から次の方々が委嘱されました。

会　長　伊藤新一郎
副会長　菊地耕二
補導部長　小松正直
環境調査部長　分銅良一
広報部長　阿部三郎
委　員　千葉金蔵
　　伊藤富司
　　佐野　允
　　宮川庄太郎
　　阿部孝順
　　加藤　豊
　　分銅吉郎
　　館岡国雄
　　菊地亮二
　　千田良次
　　小林清巳
　　佐藤貞
　　安東晃子
　　荒川レン
　　斎藤クニ

少年委員会は、警察および学校など特に少年の育成に関係ある、機関団体ならびに家庭と協力して、おもに次のようなことを任務としています。

1. 少年の不良化防止活動の中心となって活動する。
2. 街頭に出て少年の非行を早期に発見して、善導したり少年の生活に悪い影響を与えるグループの解体や環境をなくするように努める。
3. 少年をとりまく問題の解決をはかるために必要なことがらについて、家庭関係者等の相談相手になり、必要な注意助言などを与え、あるいは連絡する。
4. 関係機関や関係者からの資料や情報にもとずいて、町村広報やチラシ、ポスターあるいは会合などを利用して、広報宣伝にあたる。
5. 少年保護についての健全育成保護について関係機関と常に連絡協調する。

（注）少年非行化の危険信号、早期発見診断十六章を次に掲載しましたから参考にしてください。

○　○

少年非行化の早期発見診断十六章

(1)**ことばつき、態度が変る。**
得意になって隠語を使うとか乱暴な口をきき態度がなげやりになる。
(2)**服装、身の回りを気にする**
おしゃれが始まる。しかも子どもらしくない点にまで気をくばるようになる。
(3)**ウソが多くなる。**
心にやましいことがあるときそれを隠そうとするのが人情、自分の行動に秘密を持ち何ごとにつけてもウソをつく。
(4)**勉強や仕事をなまける。**
興味が学業や仕事のほかにできるからどうしても心がそちらにむくため、なまけがせがでる。
(5)**学校、職場からの帰宅がおそくなる。**
映画館や喫茶店へ出入りしたり、外から大声で呼んだり、口笛で呼び出す友人や、年の遠いすぎる友人がふえる。
(6)**外出、外泊が多くなる。**
友人のところで勉強するとか、クラス会があるなどいろいろの理由をつけて外出、外泊したがる。
(7)**所持品に疑問がふえる。**
借りたとか、もらったとかいって納得のいかない持ち物がふえる。
(8)**友人が変る。**
玄関や勝手口からただずねず、外泊するようになってくる。
(9)**読み物が変る。**
猟奇的なものや、ミステリーが多くなる。
(10)**夕食時に空腹を訴えない。**
盛り場をうろつくのでどうしてもおそくなる。
(11)**秘密の交際がふえる。**
秘密の交際がふえるので家人に見つからないように努力する。
(12)**喫煙飲酒を覚える。**
これは必ず陰むコース、ポケットの中にタバコの粉が入っている。
(13)**金使いがあらくなる。**
盛り場でお金を使うため、どうしてもあらくなってくる。
(14)**つまらぬことに腹をたてたり乱暴になる。**
友人のところでもいらいらしてくる。
(15)**いってもそわそわしてあかない。**
周囲のことを非常に気にするようになる。
(16)**ひとくものおじけ。**
人と親しまず、常に孤独になる。
（五城目警察署）

健康な少年は夕食をたくさん食べるが、喫茶店や盛り場で飲食がふえるので食べたがらない。

(11)**手紙や電話に敏感になる。**
秘密の交際がふえるので家人に見つからないように努力する。
(12)**喫煙飲酒を覚える。**
これは必ず陰むコース、ポケットの中にタバコの粉が入っている。
(13)**金使いがあらくなる。**
盛り場でお金を使うため、どうしてもあらくなってくる。
(14)**つまらぬことに腹をたてたり乱暴になる。**
友人のところでもいらいらしてくる。
(15)**いってもそわそわしてあかない。**
周囲のことを非常に気にするようになる。
(16)**ひとくものおじけ。**
人と親しまず、常に孤独になる。
（五城目警察署）

公売広告

一、公売物件

⊙電動機	三相	五馬力一台
〃	〃	〃
〃	〃	三馬力一台
〃	〃	二馬力一台
〃	〃	五馬力一台
⊙ポンプウズ巻口径百㎜二台		
⊙発動機	ガソリンエンジン	七・五馬力一台
⊙圧力タンク	鋼板製	一基
⊙井戸側有筋コンクリート製		二本
⊙その他	各種金属スクラップ	約二百kg
〃	〃	一二五CCホンダ
⊙バイク	ベンリー	一台

二、競争入札執行の場所と日時
場所　五城目町役場
日時　昭和四十年五月二十一日午後一時
三、入札保証金　免除
四、公売物件は上水道水源浄水場に保管してありますので希望者は入札以前にご覧ください。

国民健康保険の納期限は五月三十一日です